

高度医療人育成センター [平成21年12月完成]

“研修医の医局”として初期研修医には3階全フロアー、後期研修医には5階フロアーが用意されています。
『卒後臨床研修センター』の働きがより充実されました。
地域の方へのセミナー・臨床技能研修・女性医師支援などを行う多目的の施設ともなっています。



- 1F ... 地域医療推進室
- 2F ... 臨床技能研修センター (スキルスラボ)
- 3F ... 卒後臨床研修センター
- 4F ... OSCE (客観的臨床技能試験) 室
- 5F ... 研修室 後期臨床研修医室









充実したプログラムを実現する
最新の設備と環境。

大学病院ならではの 教育環境と 市民病院がもつ 活気の中で。



公立大学法人
和歌山県立医科大学
Wakayama Medical University

平成24年度採用
**研修医
募集**

ACCESS



所在地 和歌山県立医科大学附属病院
卒後臨床研修センター
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
TEL:073-441-0575 FAX:073-441-0576
e-mail:sotugo@wakayama-med.ac.jp

交通機関

- [電車]**
- JR紀三井寺駅 → 徒歩(約10分)
 - JR和歌山駅 → バス・タクシー
 - 南海和歌山市駅 → バス・タクシー
- [バス]**
- JR和歌山駅前
1番のりば「医大病院」行(バス番号50,51,52) 約25分
2番のりば「医大病院」行(バス番号23) 約30分
 - 南海和歌山市駅前
9番のりば「城北橋経由マリナーシティ」行(バス番号16) 約30分
10番のりば「海南日限下」行(バス番号3,4) 約30分
いずれも「医大病院前」下車徒歩3分

見学随時受付します



<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo>

DATA

●**附属病院の特徴** 和歌山県立医科大学附属病院は、救急医療体制の充実(24時間体制の救急外来、救急専用のCT撮影装置などの各種検査機器の設置、ICU、HCU、CCU、SCUの強化充実)に加え、ドクターヘリも運営。中央診療部の充実(中央手術部は臓器移植など高度な手術にも対応できる施設、最新医療機器の導入)、病棟部門の拡充(個室率を上げる、デイルームの設置など)をし、緩和ケア病棟などをもち、高度医療に対応できる保健医療の中核施設としての役割を担っています。

●**概要** 医師:327名(H21.4.1現在研修医除く) / 研修医:107名 / 病床数:800床
診療科:糖尿病・内分泌代謝内科、消化器内科、呼吸器・アレルギー内科、循環器内科、神経内科、小児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科、消化器外科・内分泌外科・小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科、産科婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、輸血・血液疾患治療部(血液内科)、腎臓内科・血液浄化センター、救急集中治療部、集学的治療・緩和ケア部、総合周産期母子医療センター、その他(中央検査部、中央内視鏡部、中央手術部、病態栄養治療部、臨床工学センター、薬剤部、看護部等)



自由度の高いプログラムで、 医師としてのベースと専門分野を極める。

研修で重要なことは多くの症例を経験することです。そのために研修医それぞれに将来を見据えた自由度の高いプログラムが組めるように設計しています。大学病院としての各診療科の研修、また1次救急から3次救急まで質量ともに幅広く症例を経験する救命救急センターでの研修、県内外の協力病院での研修で実力を付けてください。最初の2～3年は医師として最も大事な期間です。本院の臨床研修で医師として、人間として成長することを期待しています。



附属病院長 岡村吉隆

プログラムの特徴

「日本一の研修病院を目指して」

1 自由度が高い

必修科・選択科を問わず、1ヶ月～半年以上まで伸縮可能、誰もが自由に自分に合わせたローテートを決定します。長年スーパーローテートを実施した経験により可能となったプログラムです。3ヶ月毎のセンター長・研修医会議で、互いに情報交換しながら研修科の選択が可能です。

2 プライマリ・ケア能力の飛躍的UP

1次～3次まで幅広い重症度の患者さんを救命救急センターにて、圧倒的な質と量で研修できる救急研修こそが、プライマリ・ケア能力を飛躍的にのびます。

3 大学病院ならではの全科サポート、恵まれた環境

プライマリ・ケアから専門科診療に至るまで完結した研修が実現できます。

和歌山県立医大は
どのような
研修制度にも
対応できます。

下記のローテート先を自由に選択できます。

● 選択

脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科、消化器外科・内分泌外科・小児外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、神経精神科、小児科、産科婦人科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、集学的治療・緩和ケア部、臨床検査医学

● 内科系

糖尿病・内分泌代謝内科、消化器内科、呼吸器・アレルギー内科、循環器内科、神経内科、輸血・血液疾患治療部（血液内科）、腎臓内科血液浄化センター

● 救命救急センター（救急集中治療部）

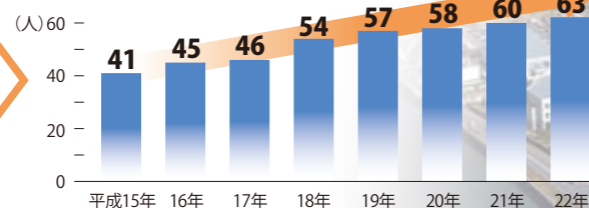
協力型臨床研修病院・施設

- ◎日本赤十字社和歌山医療センター〔内科〕 ◎独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山ろうさい病院〔内科・外科・産婦人科・小児科〕
- ◎済生会和歌山病院〔内科・外科〕 ◎済生会有田病院〔内科〕 ◎公立那賀病院〔内科・外科〕 ◎橋本市民病院〔内科・外科〕
- ◎国保日高総合病院〔内科・外科・産婦人科〕 ◎独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター〔内科・外科〕
- ◎社会保険紀南病院〔内科・小児科〕 ◎新宮市立医療センター〔内科・外科〕 ◎海南市民病院〔内科〕 ◎有田市立病院〔内科〕
- ◎泉大津市民病院（大阪府）〔小児科〕 ◎和歌山県立医科大学附属病院紀北分院〔内科・外科〕 ◎岸和田市民病院〔内科・外科〕
- ◎高野町立高野山病院 ◎国立病院機構和歌山病院 ◎白浜はまゆう病院 ◎国保ささみ病院 ◎国保古座川病院
- ◎那智勝浦町立温泉病院 ◎市立角館総合病院（秋田県） ◎町立厚岸病院（北海道） ◎町立松前病院（北海道）

マッチング 中間発表第9位

マッチング者数

マッチング者数は高水準を維持しており、初期研修先として最適な教育環境と評価されます。



先輩研修医のプログラム

中野光規 先生の場合



当院での研修の特徴は自由度が高く自分の興味のある科を中心にローテートできる事にあると思います。私自身、外科系志望であり、外科系中心にローテートし、今の自分に必要な事を学べる科をローテートしています。ローテート中に興味の湧いた科を次のローテート先にも選んだりもしています。自分で選んだ科なのでモチベーションも高く維持でき、日々充実した研修ができています。大学病院に加え、関連病院も自由にローテートすることができ、高度な専門症例だけでなく、プライマリーな症例にも充分対応する力をつける事ができます。当院で医師としての土台を築き、将来へのスタートを一緒に切りましょう。

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年目	心臓血管外科	腎臓内科	麻酔科	呼吸器乳腺外科	救急	
2年目	新宮市立医療センター循環器内科	済生会和歌山病院外科	地域医療	和歌山ろうさい病院内科	泉大津市民病院小児科	心臓血管外科

曾根勝真弓 先生の場合



皆さんこんにちは。和歌山県立医科大学附属病院での臨床研修は、大学病院や地域の関連病院でのローテートを、月単位で自由に選択できることが特徴の一つです。私は図のように、志望科にいる間に課題を見つけ、次にそれを克服できる科を選んでローテートしてゆきました。救急部では、腹痛やめまいから集中治療を必要とする敗血症性ショック、あるいは擦り傷や脱臼から多発性外傷まで、幅広い疾患の患者さんを診ることができました。また大学病院であることから、希望次第で学会発表などのチャンスも多くありました。立派なスキルスラボも持っており、私自身も胸腔ドレーンや中心静脈留置、ブロンコファイバーなどの手技を模擬患者で練習してから、本物の患者様の処置に臨むことができました。私たち医師は、どの病院、どの科に進んでもやりがいのある職業ですが、誰と一緒に仕事をするのかということも非常に重要なことだと思います。和歌山医大には、教育熱心で相談しやすい先生方や、ハートフルで楽しいコメディカルの方々、そして明るく前向きな仲間が本当にたくさんいます。来年度皆さんと一緒に働けるのを、心からお待ちしています。

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年目	整形外科	リハビリテーション科	救急	糖尿病・内分泌代謝内科	
2年目	麻酔科	済生会和歌山病院内科	地域医療	小児科	未定

橋本忠幸 先生の場合



将来救急科、特に集中治療を専門にしようと考えている私はまず内科でじっくりと勉強し、その次に脳神経外科で脳卒中の急性期を中心に外科手技を勉強しました。その甲斐もあり、比較的スムーズに救急科3ヶ月をローテーションすることが出来ました。当院の救急科は大学病院ながらも1次から3次までを診ているので様々な疾患の患者を診ることが出来ます。また、大学病院ならではの検査室での研修や海外の病院への研修も可能なので、非常に多彩で柔軟なプログラムを組むことが可能になりました。将来の専門科を決めている人も、まだ決めていない人も柔軟なプログラムだとどちらも対応できると思います。是非当院で大事な2年間と一緒に作り上げましょう。

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年目	呼吸器内科	脳神経外科	救急	循環器内科	泉大津市民病院小児科		
2年目	臨床検査医学	血液内科	腎臓内科	公立那賀病院外科	南和歌山医療センター内科	地域医療海外研修含む	ER

研修医室

研修医一人一人に机・棚・LANを完備した研修医室を用意しています。日々の忙しい業務の中、一息つく場として、又、同期の仲間と切磋琢磨する場として活用されています。



モーニングミニレクチャー

業務開始前に、研修医室にてミニレクチャーを行っています。医師として駆け出しの3ヶ月間は、各科のDr.より基本的な必須知識のレクチャーが行われます。また、4ヶ月目からは、研修医同士がお互いに勉強し、経験した症例を発表し、ディスカッションを行っています。



急性期医療への対応（救命救急センター）

当院の大きな特色のひとつである1次～3次救急では、救急専門スタッフ+各科のスペシャリストが協調して対応しています。プライマリ・ケアの能力UPをめざし、診断から治療までの完結した研修で、自己の課題に気づくことができるでしょう。



※研修医も希望すれば搭乗勤務できます。

臨床技能研修センター（スキルスラボ）

シミュレーター教育を取り入れ、確実にあなたの身になる研修をサポートします。苦手な手技の修得やチーム医療実践のためのプログラムなど随時実施します。



卒後臨床研修の目標



卒後臨床研修センター長 上野雅巳

多くの協力病院をもち、一次から三次まで受け入れる救命救急センターを備えている大学病院こそが、臨床研修病院の理想です。

専門医である前に、まず医師として、「どんな疾患も、どんな患者さんも診られる総合診療医、救急医」としての姿勢と能力を身につけることが初期研修の目標です。

見学随時受付します

HP: <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo>

→ 見学・応募のご案内

[e-mail] sotugo@wakayama-med.ac.jp

[TEL] 073-441-0575